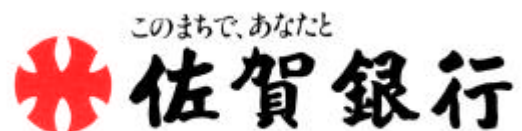


さぎん 会社説明資料



平成20年11月

本編は平成20年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について
計数に関する部分を平成20年9月期の計数に置き換えたものです。



目次

1. 平成20年度中間期損益の状況	...	3
2. 平成20年度中間期末資産・負債・純資産の状況	...	4
3. 不良債権比率の推移	...	5
4. 不良債権の処理	...	6
5. 繰延税金資産	...	7
6. 自己資本比率・Tier 比率の推移	...	8
7. 有価証券の状況	...	9
8-1. 貸出金平残 四半期別前年比 (全店)	...	10
8-2. 貸出金平残 四半期別前年比 (佐賀・長崎)	...	11
8-3. 貸出金平残 四半期別前年比 (福岡)	...	12
8-4. 貸出金平残 四半期別前年比 (東京)	...	13
9. 役務取引等利益の状況	...	14

1.平成20年度中間期損益の状況

番号	項目	平成19年度中間期	平成20年度中間期	比較	備考
1	資金運用収益 2+3+4	17,680	17,567	113	
2	貸出金利息	13,470	13,533	+63	貸出金平残 8,635百万円 (0.71%) 貸出金利回り 2.233% 2.259% (+0.026%ポイント)
3	有価証券利息	3,977	3,652	325	有価証券平残 +21,720百万円 (+3.88%) 有価証券利回り 1.418% 1.253% (0.165%ポイント)
4	その他	233	381	+148	
5	資金調達費用 6+7	2,861	2,748	113	
6	預金等利息	2,076	2,458	+382	預金等平残 +22,733百万円 (+1.27%) 国内預金利回り 0.221% 0.262% (+0.041%ポイント)
7	その他	784	290	494	外貨資金調達費用の減少 366百万円
8	資金利益 1-5	14,819	14,819	0	
9	役務取引等収益	3,571	3,322	249	投資信託関係 424百万円 250百万円 (174百万円) 保険代理店関係 182百万円 185百万円 (+3百万円)
10	役務取引等費用	1,606	1,669	+63	
11	役務取引等利益 9-10	1,965	1,652	313	
12	その他の業務収益 (除債券5勘定戻)	524	530	+6	
13	その他の業務費用 (")	0	33	+33	
14	その他の業務利益 (") 12-13	524	496	28	
15	業務粗利益 (") 8+11+14	17,309	16,969	340	
16	経費	12,364	11,952	412	物件費の減少 333百万円
17	コア業務純益 15-16	4,945	5,016	+71	
18	一般貸倒引当金繰入額	395	634	1,029	
19	個別貸倒引当金繰入額	1,053	4,449	+3,396	
20	債権売却損等	111	2	113	
21	クレジットコスト 18+19+20	1,560	3,813 (注1)	+2,253	注1 :貸出金平残対比 0.31%
22	債券5勘定戻	86	287	+201	
23	その他の臨時損益	541	478 (注2)	+63	注2 :うち株式等売却益 953百万円 株式等償却 1,435百万円
24	経常利益 17-21+22+23	2,929	1,011	1,918	
25	特別損益	1,037	36	+1,001	
26	税引前当期純利益 24+25	1,891	974	917	
27	法人税等・法人税等調整額	1,728	97	+1,825	
28	当期純利益 26-27	3,620	877	2,743	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

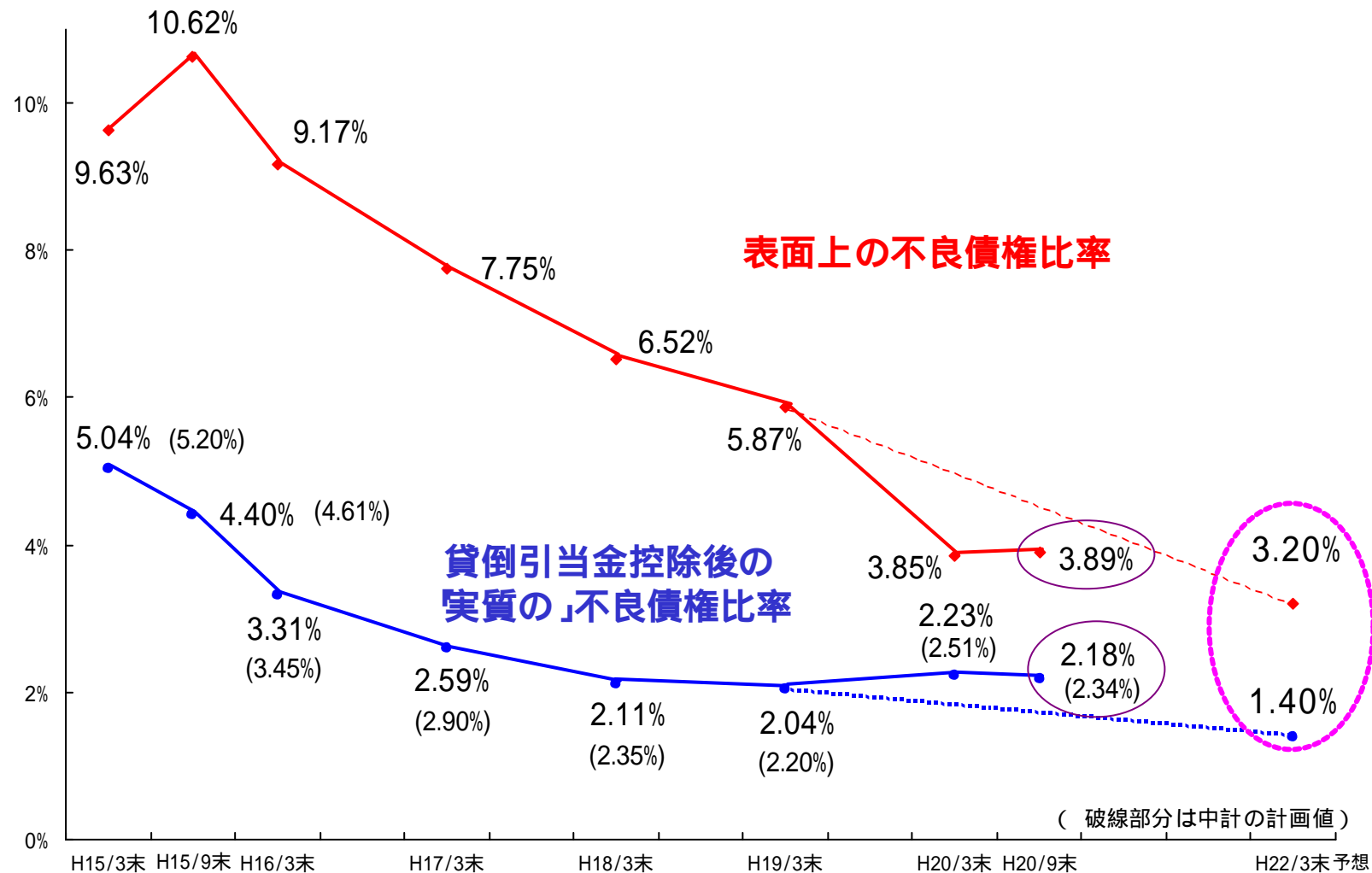
2.平成20年度中間期末資産・負債・純資産の状況

番号	項目	平成19年9月末	平成20年9月末	比較	備考
	(資産の部)				
1	現金預け金、コールローン、買入手形 買入金銭債権、特定取引資産	182,417	172,595	9,822	国内債券 +19,538 (除く短期社債) 外国債券 20,112 株式 5,349 パルク等不良債権処理 32,750
2	金銭の信託、短期社債				
3	有価証券(除く短期社債)	507,130	500,340	6,790	
4	貸出金	1,205,541	1,202,069	3,472	
5	外国為替・その他資産	8,393	10,350	+1,957	
6	有形・無形固定資産	31,831	32,033	+202	
7	繰延税金資産	11,956	15,643	+3,687	
8	支払承諾見返	17,770	17,983	+213	
9	貸倒引当金	38,899	24,615	+14,284	
9	合計	1,926,140	1,926,401	+261	
	(負債の部)				
10	預金	1,730,276	1,739,670	+9,394	うち個人預金の増加 +28,966 (1,235,591 1,264,557) 別途、個人預かり資産残高(増加 +15,756 (189,813 205,569) (注1)うち劣後特約付借入金 20,500
11	譲渡性預金	40,044	37,224	2,820	
12	コールマネー・借入金	25,659	(注1) 22,064	3,595	
13	外国為替・その他負債	8,367	6,549	1,818	
14	賞与引当金・退職給与引当金	12,988	12,117	871	
15	役員退職慰労引当金	569	638	+69	
16	睡眠預金払戻引当金	110	102	8	
17	再評価に係る繰延税金負債	6,538	6,499	39	
18	支払承諾	17,770	17,983	+213	
19	合計	1,842,325	1,842,848	+523	
20	純資産の部合計	83,815	83,552	263	
21	負債及び純資産の部合計	1,926,140	1,926,401	+261	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

3.不良債権比率の推移

不良債権比率 (金融再生法開示債権比率) の推移



今中期経営計画の目標値

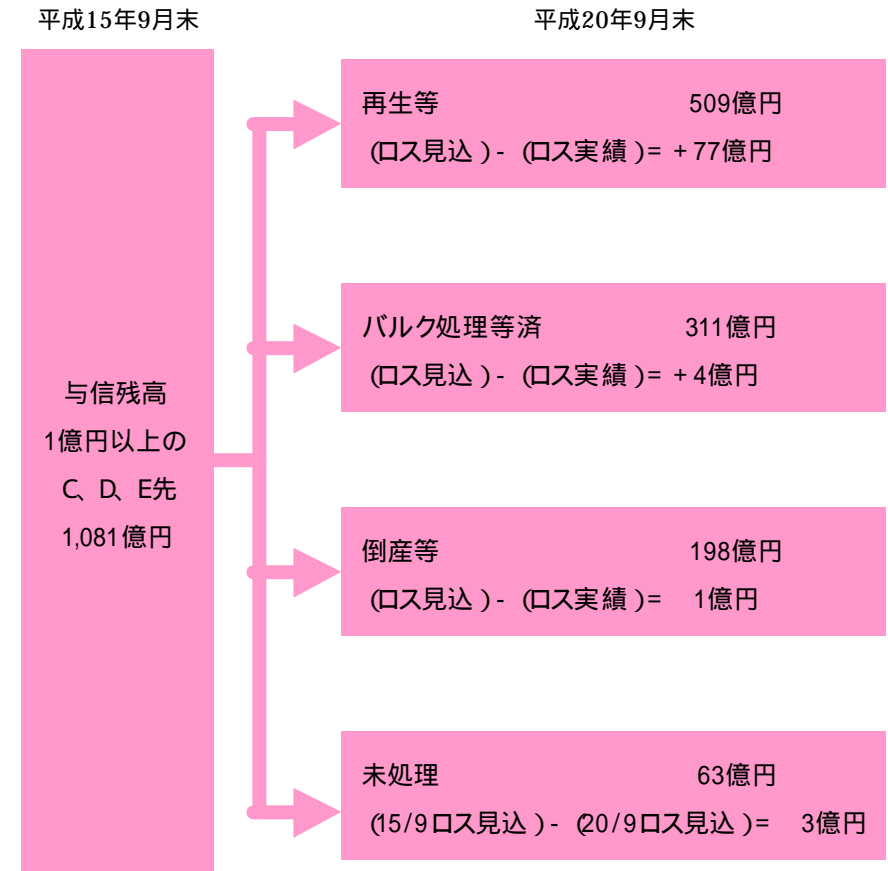
貸倒引当金控除後の不良債権比率を計算する場合、不良債権の額から個別貸倒引当金の額と要管理先に対する一般貸倒引当金の額を控除している。これは、要管理先の要管理債権のみに対する一般貸倒引当金の額が不明のためであるが、念のため、「要管理先債権に対する一般貸倒引当金」を「要管理債権の額 / 要管理先債権の額」で按分したものを「要管理債権に対する一般貸倒引当金」と見た場合の数値を()書きで表示した。

4.不良債権の処理

1.資産の良質化すすむ

平成15年3月末	平成20年3月末	平成20年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (D, E) 297億円	D, E 141億円	D, E 187億円
危険債権 (C) 560億円	C 185億円	C 176億円
要管理債権 (B4) 404億円	B4 145億円 1先10億円以上のB3、B2 52億円	B4 18億円 1先10億円以上のB3、B2 29億円
1先10億円以上のB3、B2債権 335億円	その他要注意先 1,539億円	その他要注意先 1,750億円
その他要注意先債権 (B1と1先10億円未満のB3、B2) 2,036億円	A 10,182億円	A 10,007億円
正常債権(A) 9,484億円		
合計 1兆3,119億円	合計 1兆2,247億円	合計 1兆2,262億円

2.両建方式での二次ロス



「ロス見込」は平成15年9月末の保全不足額である。当時バルク等処理をしていた場合、買い叩きによって、ロスが見込より大きくなっていった可能性がある。

5.繰延税金資産

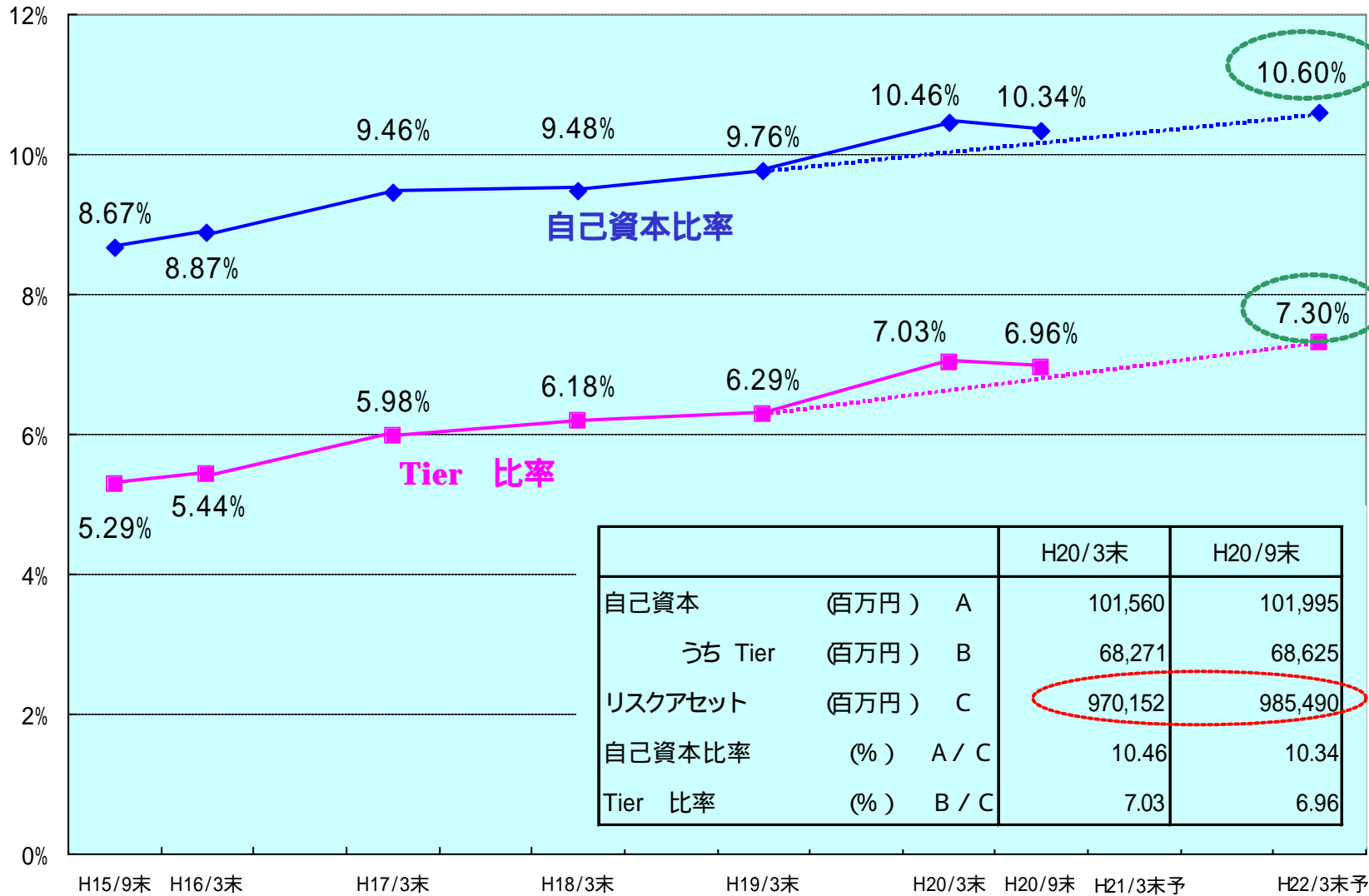
H15/9末 (過去の比-ク)	繰延税金資産 (B) 29,872百万円		評価性引当額 8,738百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 27,288百万円	繰延税金負債 2,583百万円	
H18/3末	繰延税金資産 (B) 19,793百万円		評価性引当額 10,159百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 12,172百万円	繰延税金負債 7,621百万円	
H19/3末	繰延税金資産 (B) 17,496百万円		評価性引当額 9,854百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 8,432百万円	繰延税金負債 9,064百万円	
H20/3末	繰延税金資産 (B) 19,873百万円		評価性引当額 5,564百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 13,873百万円	繰延税金負債 5,999百万円	
H20/9末	繰延税金資産 (B) 19,780百万円		評価性引当額 5,341百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 15,643百万円	繰延税金負債 4,137百万円	

中核的資本に占める繰延税金資産の割合

	H15/9末	H18/3末	H19/3末	H20/3末	H20/9末	今中計目標 (平成22年3月末)
Tier 中 (A)の比率	56.25%	21.32%	13.79%	20.32%	22.79%	1.00%
Tier 中 (B)の比率	61.58%	34.68%	28.63%	29.10%	28.82%	13.90%

過去の比-ク

6. 自己資本比率・Tier 比率の推移

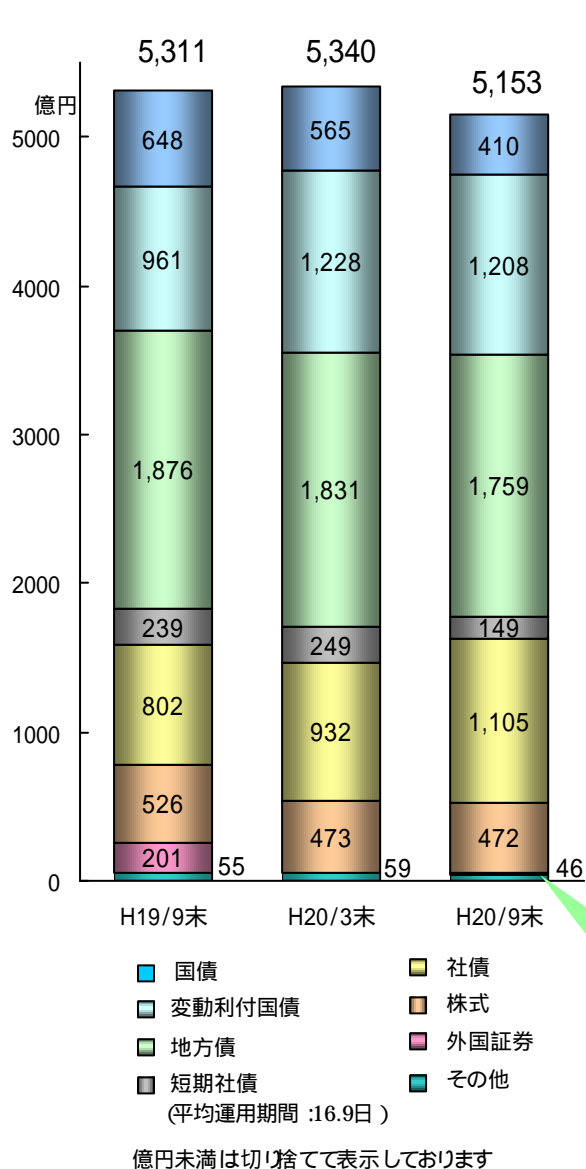


今中期経営計画の目標値

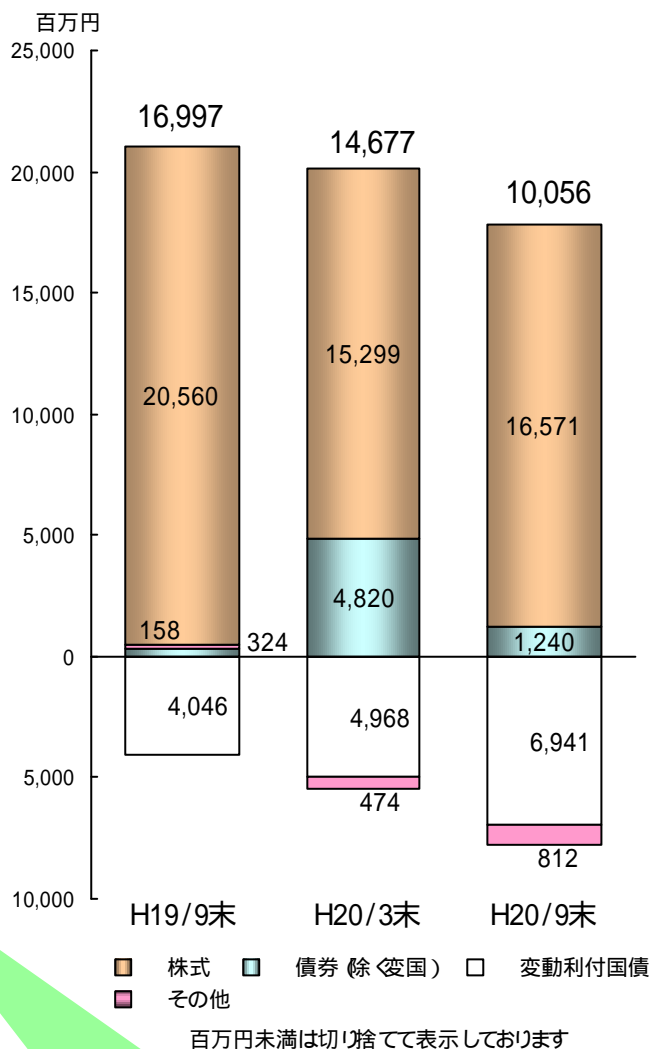
「H18/3末」までは旧基準、「H19/3末」以降は新基準にて算出。
 新基準における信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナルリスクについては「基礎的手法」を採用。
 繰延税金資産はB/S計上額。

7. 有価証券の状況

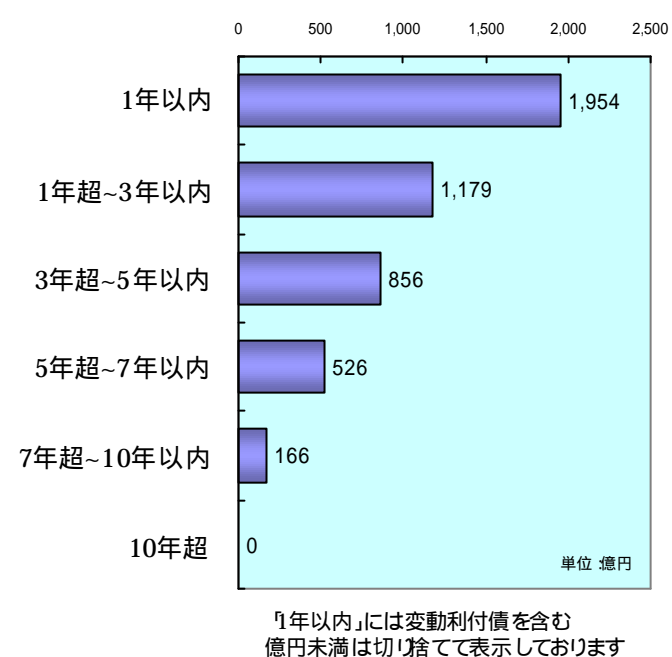
1. 有価証券残高 (B S計上額)



2. 『その他有価証券』の評価損益



3. 国内債券の残存期間別残高 (H20/9末)



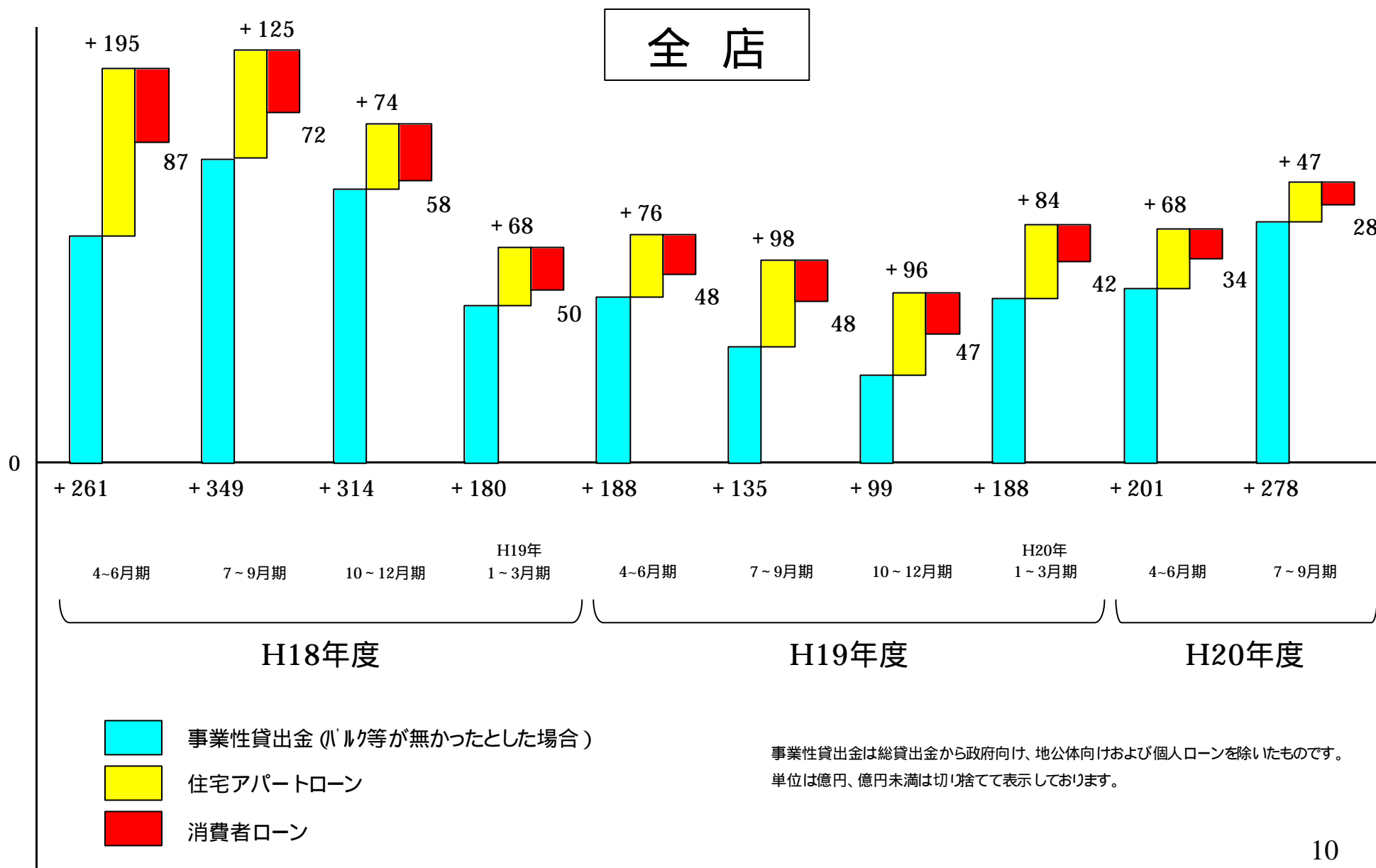
4. 国内債券の平均残存期間と10BPV

	H19/9末	H20/3末	H20/9末
平均残存期間 (年)	3.14	2.80	2.56
10BPV (百万円)	1,175	1,093	972

変動利付国債は0.5年として算出

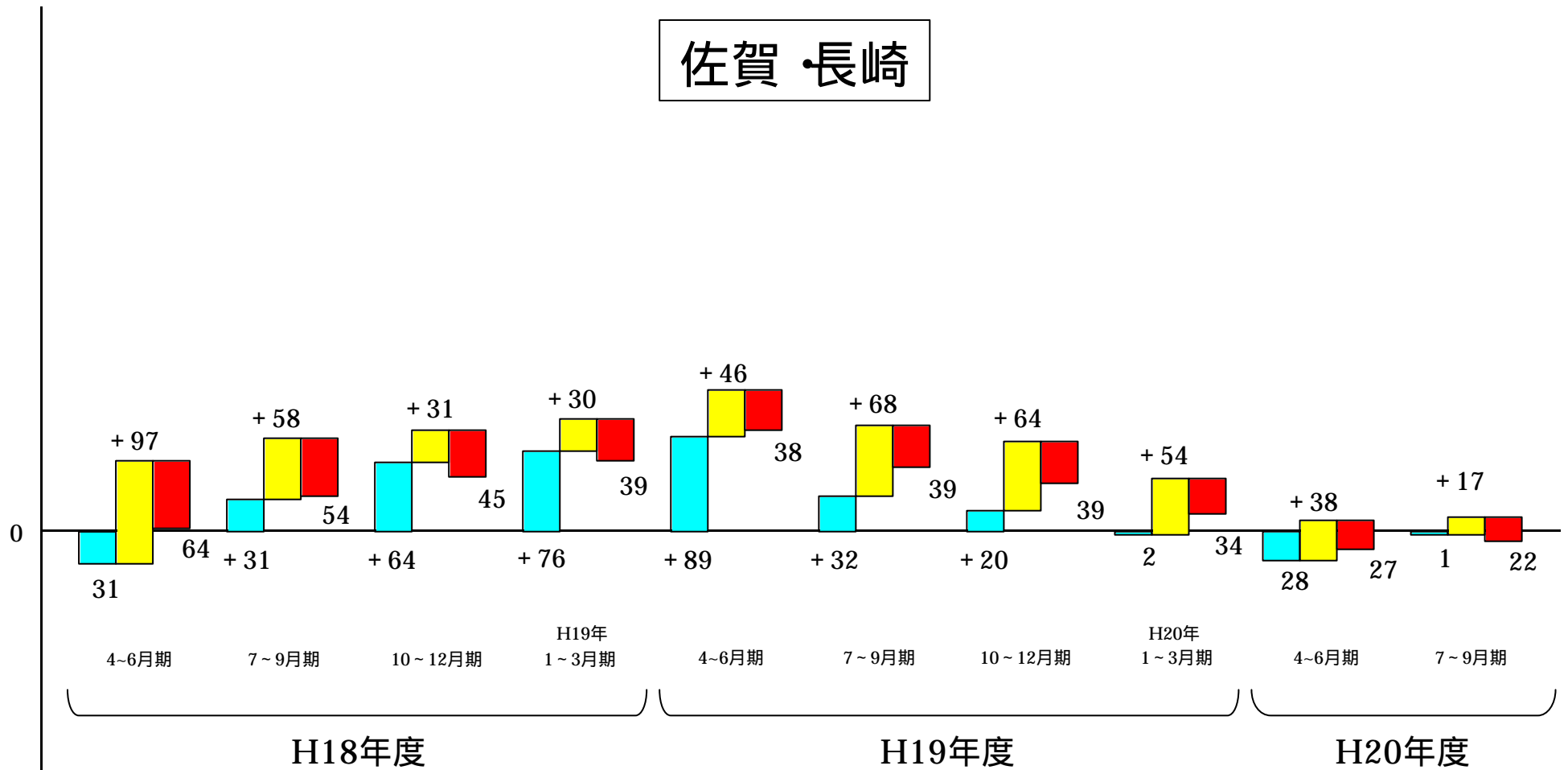
証券化商品への投資はありません

8 - 1 .貸出金平残 四半期別前年比



8 - 2 .貸出金平残 四半期別前年比

佐賀・長崎

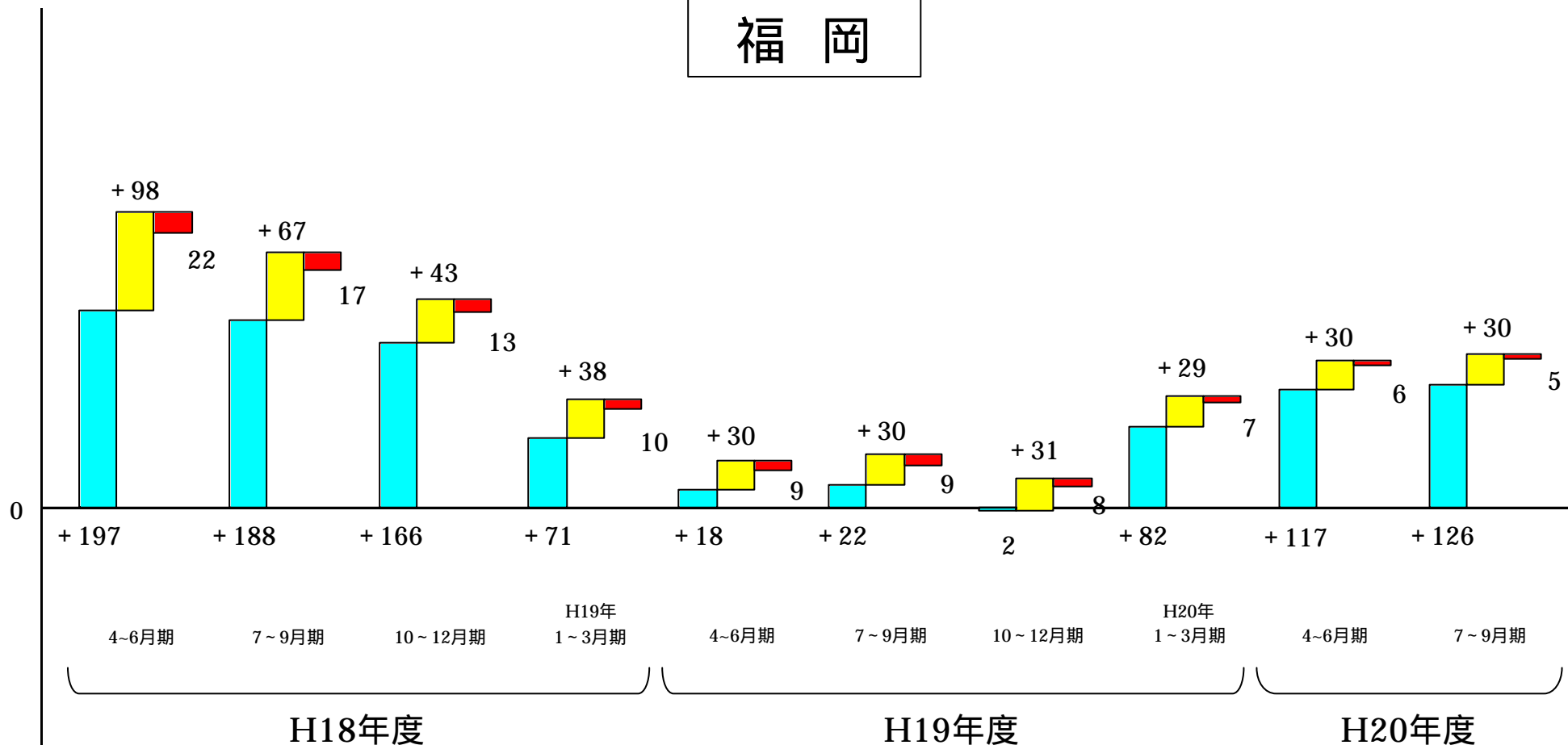


- 事業性貸出金 (バルク等が無かったとした場合)
- 住宅アパートローン
- 消費者ローン

事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

8 - 3 .貸出金平残 四半期別前年比

福岡

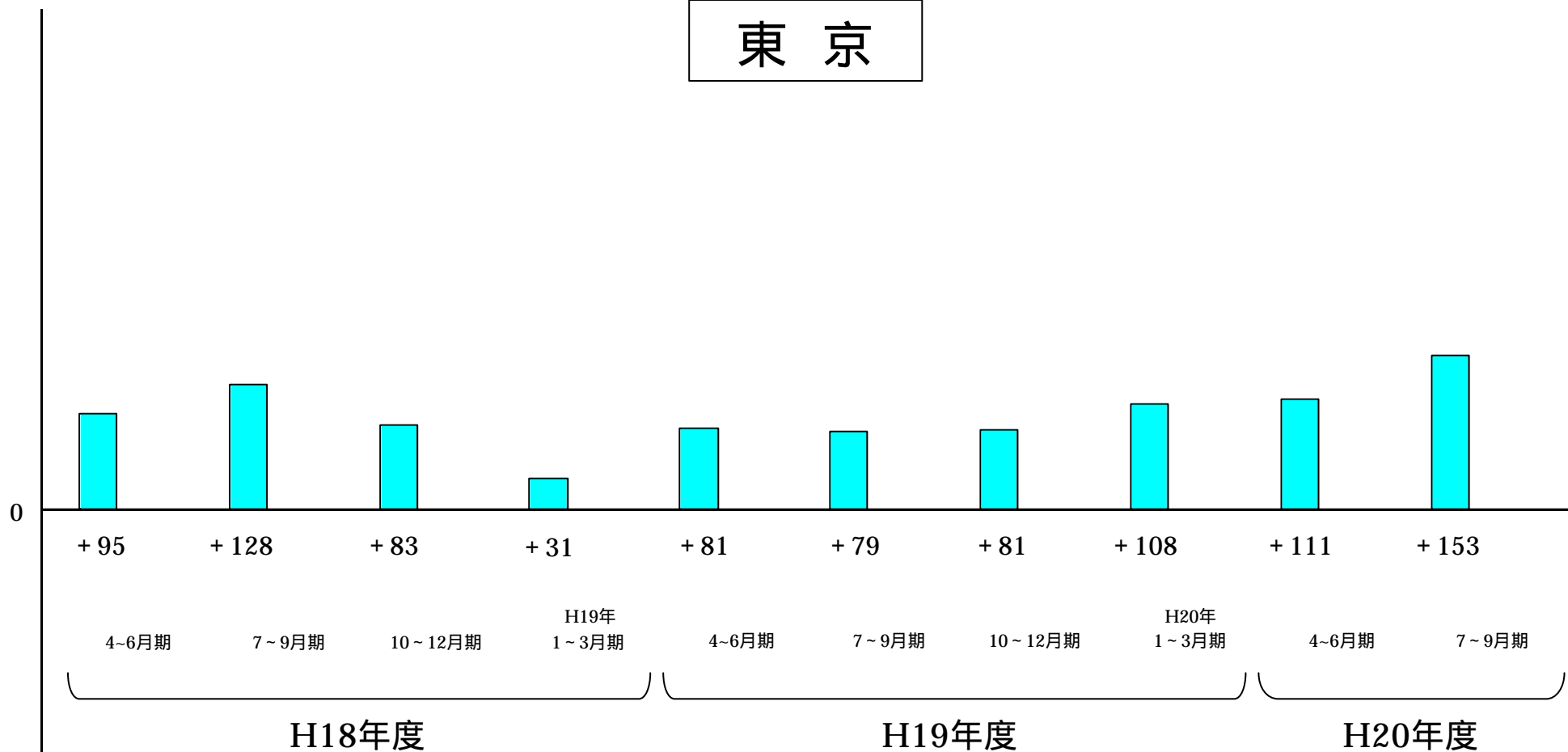


- 事業性貸出金 (バルク等が無かったとした場合)
- 住宅アパートローン
- 消費者ローン

事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

8 - 4 .貸出金平残 四半期別前年比

東京

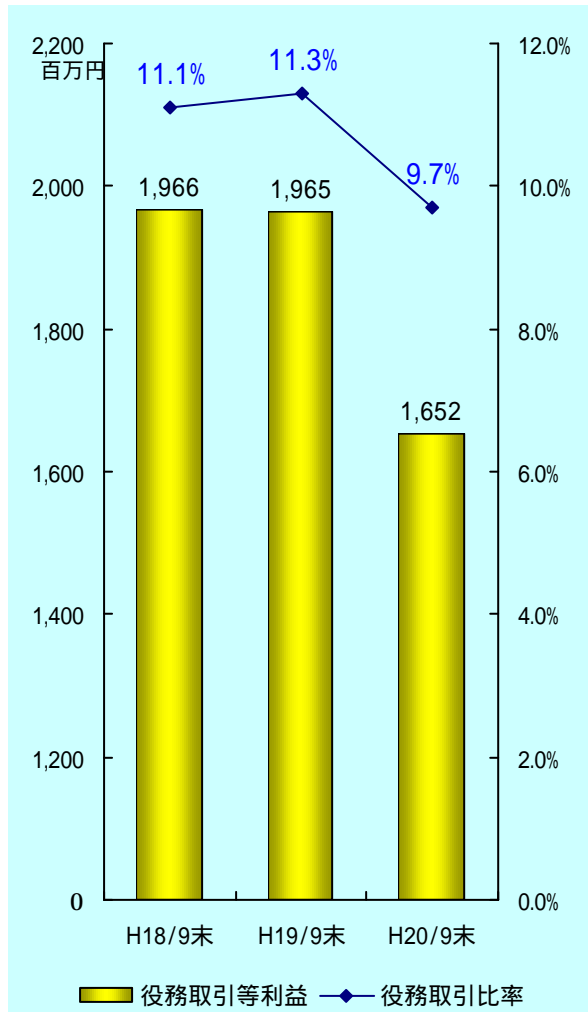


- 事業性貸出金 (バルク等が無かったとした場合)
- 住宅アパートローン
- 消費者ローン

事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

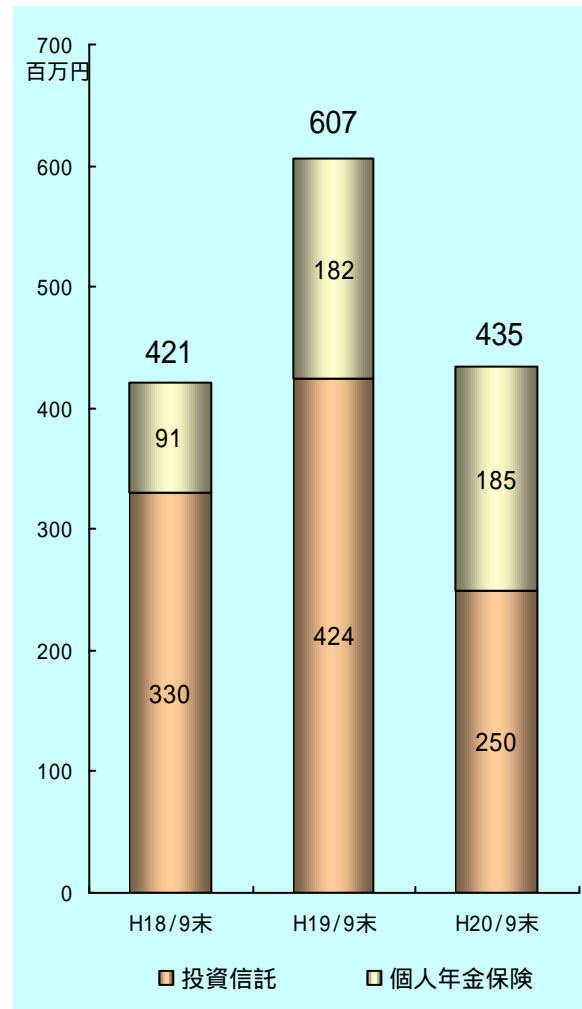
9. 役務取引等利益の状況

1. 役務取引等利益の推移



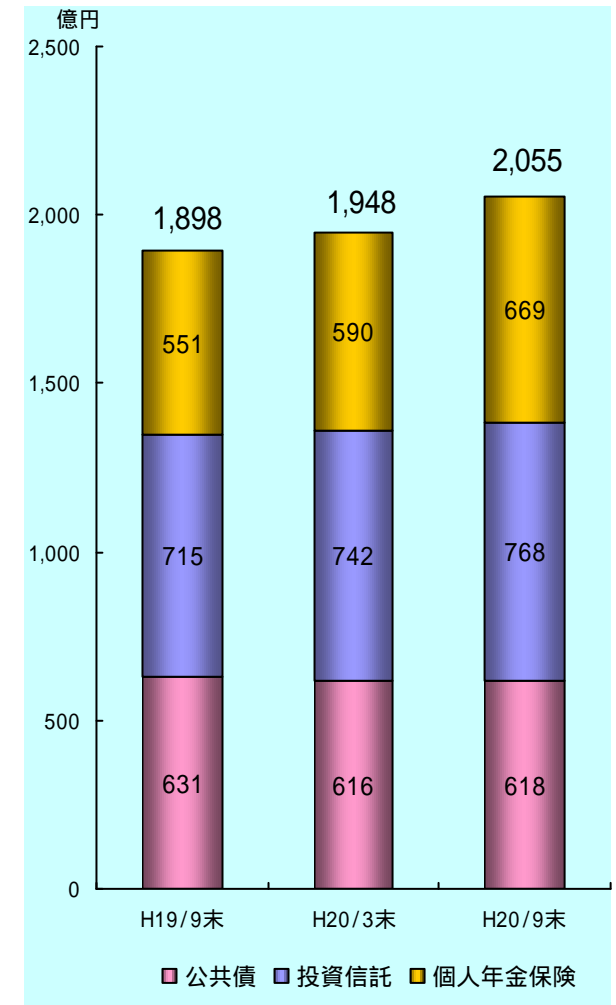
役務取引比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益
百万円未満は切り捨てて表示しております

2. 投資信託・個人年金保険関係手数料



百万円未満は切り捨てて表示しております

3. 個人預り資産残高の推移



億円未満は切り捨てて表示しております

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
総合企画部
担当 森田、山崎

TEL 0952 - 25 - 4553

本資料は当行の財務状況に関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。